

令和 7 年度 国内需要安定化事業  
沖縄 Fun 運営業務  
企画公募型コンペティション 仕様書



## 1. 事業背景及び目的

近年、著しい人口減少により国内マーケットの規模が縮小していく中で、国内の観光需要を安定的に獲得していくためには本県を訪れる観光客のリピーターを増やしていくことが重要であると考えられる。

一度きりではなく、何度も訪れたいくなる沖縄ならではの魅力を発信し観光コンテンツの創出を行うことで、新規沖縄リピーター層の拡大及び沖縄リピーターの再訪促進と消費単価の向上を目的とする。

## 2. 業務概要

沖縄ファンコミュニティサイト「沖縄 Fun」の新規ユーザー獲得及び閲覧数と投稿数拡大のため、サイト改修、投稿キャンペーンの実施、効果的な媒体を活用した情報発信を行う。本業務を通して、新たな沖縄旅行の楽しみ方や魅力の発見に繋げ、沖縄 Fun の認知向上及び沖縄リピーターの創出、来沖意欲を促進する。

## 3. 委託業務の内容

- (1) 「沖縄 Fun」の改修及び活用した情報発信
- (2) 投稿キャンペーンの実施
- (3) 効果的な媒体を活用した情報発信
- (4) プロモーション効果の測定
- (5) 業務完了報告書の作成
- (6) 精算関係書類の提出
- (7) 企画実施体制の構築
- (8) その他、業務実施にあたり OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務

## 4. 企画提案内容

企画提案にあたっては、以下の点を踏まえて提案すること。

- ・リピーターの定義は沖縄への来訪回数が2回以上且つ、直近の来訪時期は5年以内とする。
- ・本事業で製作するすべての広告宣伝物には、可能な限り下記クレジット及びロゴを掲出すること。(ロゴデータはOCVBより提供)
- ・「Be. Okinawa」の詳細は <https://beokinawa.jp/jp/> 参照

クレジット：「協力：沖縄県・(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー」

※スペースの制限がある場合は「協力：沖縄県・OCVB」でも可。

ロ           ゴ：ロゴデータは適宜提供

【メインロゴ】沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」

- ・委託費における予算配分の目安は以下の通りとする。
  - ただし、他に良いと思われる予算配分があれば提案も可とする。
- (委託費 400 万円)

コンテンツ制作費 20%	広報展開費 55%	その他経費 25%
-----------------	--------------	--------------

(1) 沖縄ファンコミュニティサイト「沖縄 Fun」の改修及び活用した情報発信

【既存特集ページ】「沖縄 Fun」 [https://www.okinawastory.jp/feature/okinawa\\_fun/](https://www.okinawastory.jp/feature/okinawa_fun/)

バージョン情報：Laravel Framework 10.32.1

PHP8.2、MySQL8.4

- ・キャンペーン未実施期間を含め「沖縄 Fun」のアクティブユーザー獲得に繋がる仕組みを提案すること。
- (例：テーマ別投稿機能など)
- ・会員登録不要で利用できる仕組みとすること。
- ・その他、内容の充実に繋がる追加・改修したほうが良いと思われる機能があれば提案すること。

※投稿の公開作業やコメント対応等のサイト運用は OCVB にて行う。

(2) 投稿キャンペーンの実施

- ・「沖縄 Fun」への複数投稿を促し、来沖意欲の促進に繋がる投稿キャンペーンを実施すること。
- ・プレゼントキャンペーンを実施する場合、高額賞品とならないようにすること。
- 事業費から捻出する場合は 1 組 3,000 円以内とし、協賛の場合は内容により OCVB と協議の上で決定する。

(3) 効果的な媒体を活用した情報発信

- ・新規・既存沖縄リピーターに向けて費用対効果の高い媒体の選択と多角的な情報発信を根拠と共に明示すること。
- ・企画、発信が予定されているメディア等と連動させることで訴求効果を向上させるコンテンツや企画提案も可とする。
- ・各メディア等を活用する場合は仮承諾書（実施の実現性の承諾）を得ること。

(4) プロモーション効果の測定

- ・本業務の効果測定を行うため、上記 (1) ～ (3) について具体的な効果測定手法を提案し、効果測定を行うこと。

- ・ 広告の閲覧状況やランディングページへの誘導状況など当該業務により想定する報告内容について、報告可能な数値項目等を踏まえて記載すること。
- ・ 本事業で波及された広告換算金額についても提示すること。
- ・ OCVB が運営する媒体を活用する場合、Google Analytics 等のデータをもとに本事業の効果検証及び分析を行うこと。

※Google Analytics のアクセス権限を付与する。

(5) 業務完了報告書の作成

- ・ 実施したプロモーションの内容やその事業効果とともに、業務全体を分析し課題について取りまとめ、報告書を作成すること。
- ・ 次年度に向けた提案も記載すること。
- ・ 概要版（A4 サイズ 1～2 枚程度）も併せて作成すること。
- ・ 改定内容を含めた管理画面マニュアルを作成すること。

(6) 精算関係書類の提出

業務にかかった費用内訳及びその支払を証明する証憑書類（見積書、納品書、請求書、領収書、支払証明書、自社人件費の稼働一覧・勤務表・日報等根拠資料）を提出すること。

(7) 企画実施体制の構築

- ・ 委託業務全体を統括する担当者 1 名かつ業務調整担当者 2 名を配置すること。
- ・ 外部発注を行う際は発注先が県内事業者か県外事業者か、業務内容とあわせて明記すること。

(8) その他、業務実施にあたり OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務

## 5. 成果物等一覧

受託事業者が提出すべき成果物等は「表 1」の通りとする。

表 1 成果物等一覧

項目	内容
コンテンツデータ	作成した広告、記事、Web サイト等の電子データ (Photoshop、illustrator 等のデザインデータ含む)
放映確認書	実施した場合の放映確認書
素材データ	本業務で撮影・使用した映像、画像等の素材 (映像素材は、PC にて再生できる DVD ディスク及びデータを納品) ※動画素材は本事業終了後、OCVB にて加工編集が可能な素材も提出することとする。
紙媒体	掲出した紙媒体（各 3 点）

業務完了報告書	本業務の効果を検証した報告書 3 部 データ (PDF 及び編集可能なパワーポイント)
業務完了報告書概要書	業務完了報告書の概要を A4 版 1~2 枚程度にまとめたもの概要書及びデータ (PDF 及びパワーポイント)
沖縄 Fun 管理画面 マニュアル	今後サイト運用に必要な操作・運用方法などを記載したマニュアル書 3 部及びデータ (PDF 及びパワーポイント)
その他	業務実施にあたって制作した成果物 (各 3 点) ※当該成果物の中間生成物含む

## 6. スケジュール

受託事業者は下記のスケジュールで業務を実施すること。

- ・成果物及び業務完了報告書の提出；令和 8 年 2 月 13 日（金）まで

## 7. 契約不適合責任

受託者は、納品後から 1 年間は瑕疵や不具合について無償で修正し、またはこれを取り換える責任を負うこと。

## 8. 著作権・特許等

- (1) 受託事業者は、本業務で作成された成果物に関し、全ての著作権（著作権法第 27 条及び 28 条に定める権利を含む財産権）を、OCVB に無償で譲渡するものとする。ただし、委託前から受託事業者の構成者が権利を有する著作物及び第三者が権利を有する著作物を利用する場合は事前に OCVB の承諾を得るものとする。
- (2) 受託事業者は、OCVB の同意を得なければ、著作権法第 18 条から第 20 条までに規定されている権利を行使することができない。
- (3) 成果物で使用する文章、写真、図版などは全て沖縄県及び OCVB 内での利用若しくは沖縄県又は OCVB が観光振興に資すると判断した上で第三者への提供が可能なもののみを使用するものとする。
- (4) 本業務にて作成する印刷物等に使用する、OCVB が著作権を得ることができない図版及び写真については、二次使用が可能なこととする。（写真データについては電子納品をし、沖縄観光情報 Web サイト「おきなわ物語」への掲載及び OCVB が認める他の媒体での使用が可能であること）
- (5) 成果物の使用期限は設けないものとする。
- (6) 成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含め全て受託事業者において責任を負うものとする。
- (7) 著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。

- (8) 上記条件を満たすのに費用が過大となり、十分な広報展開が出来ないことが見込まれる場合においては、協議するものとする。

## 9. 注意事項

- (1) 提案企画の中で OCVB が行なう業務がある場合は、企画書に明確に明記すること。
- (2) 提案内容は、公的機関が行うプロモーションとして適切なものとする。
- (3) 契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画の内容を全て実施することを保証するものではない。
- (4) 本業務にて使用する図版及び写真は、原則として受託事業者が用意すること。
- (5) 掲載内容の情報については、受託事業者が責任を持って文字校正（情報内容の確認）を行い、必要に応じて OCVB も校正を行う。
- (6) 本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の契約の仕様書とは異なる場合がある。
- (7) 本仕様書記載の業務内容については、実施段階において、予算や諸事情によって変更することがある。

以上